

酒文化研究所

NEWS LETTER

第3号 2013年3月25日

【日本の酒ツーリズム 前編（清酒・ウイスキー）】

訪ねて楽しい酒蔵散歩－西条・伏見・灘

ウイスキーづくり 90年－サントリー山崎蒸溜所

欧米では酒とその関連施設は観光資源としても有効活用され、酒造工場の多くがゲストハウスを併設し、一般の消費者が出入りできるようになっています。フランスのボルドーやブルゴーニュ、カリフォルニアのナパやソノマなどのワイン産地では、ワイナリーを巡るツアーが人気、スコットランドでもウイスキーの蒸溜所が観光の目玉になっています。

酒を起点にしたツーリズムは日本にも少しずつ広がりをを見せています。人々の営みやその土地の飲食に触れることができる酒スポット巡りは、名所旧跡を訪ねるのとは違った魅力があるからでしょう。酒に関心のある方だけでなく幅広い方が、その楽しさを認めるようになってきているようです。

日本での酒ツーリズムの充実は、日本産の酒類の国際化や海外からの観光客誘致にも貢献します。清酒・本格焼酎・梅酒などの日本固有の酒は、製造の現場に触れて理解が深まり、好意的受け止められるようになります。世界トップレベルの品質の高さで知られる日本のウイスキーは、多くの愛好家が蒸溜所の訪問を目的に来日していますが、一般の方にも興味深い観光スポットになるはずです。

今回と次回の2回にわたって日本の酒の観光スポットをご紹介します。

【お問い合わせ】

本資料に関するお問い合わせは下記まで。

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-3-14CM ビル

株式会社酒文化研究所（代表 狩野卓也）<http://www.sakebunka.co.jp/>

TEL03-3865-3010 FAX03-3865-3015

担当：山田聡昭（やまだ としあき）

Eメール：yamada@sakebunka.co.jp

〔1〕歩いて周れる酒蔵

清酒の酒蔵は日本各地にあり、その数は約 1500 社にのぼります。数百年の歴史を数えるものが珍しくなく、企業としてだけでなく長く地域のリーダーとして活躍してきました。都道府県別で酒蔵の数（製造免許場数）が最も多いのは酒どころとして知られる新潟県です。北から南まで県内に 100 場の酒蔵が点在しています。2 番目は大規模な酒蔵が立ち並ぶ灘（神戸市と西宮市の一部）を抱える兵庫県で 98 場あります。これに続くのが長野県（89 場）で、福島県（80 場）、福岡県（75 場）、広島県（66 場）と続きます。

一般に酒蔵は野山や田畑が広がる自然の豊かな場所に立地していることが多く、公共の交通機関で訪れるのはなかなか大変です。かといって自家用車で訪ねたのではドライバーはせっかくのお酒を試飲できません。のんびりと歩いて巡るツアーを考えると、駅から歩いて行ける市街地にある酒蔵が望ましく、さらに酒蔵が集中していて、複数の酒蔵を見て周れるとなると対象は極めて限られます。

■西条（広島県東広島市）

こうした条件を備え土蔵づくりの酒蔵が軒を連ね、趣のある街並みが残っているエリアの筆頭は広島の西条一帯です。JR 山陽本線西条駅の駅前から数分のエリアに、賀茂鶴、西条鶴、亀齢、白牡丹、賀茂泉、福美人、山陽鶴、賀茂輝という 8 つの酒蔵があるのです。駅からすぐの賀茂鶴酒造には、見学できる酒造資料館と本格的な洋食レストラン「仏蘭西屋」があり受け入れ態勢が整っています。

そこから 5~6 分ほど先に進んだところにある賀茂泉



賀茂鶴酒造。左の洋館が本社屋。敷地内に蔵が複数ある
東広島市西条本町 4 番 31 号 TEL082-422-2121



土蔵の蔵と蔵の間の路地が伸びる



あちこの酒蔵が自社の湧水を開放し、自由に汲めるようになっている



賀茂鶴酒造の直営洋食「仏蘭西屋」。酒蔵料理の「美酒鍋」が楽しめる



壁にはたくさんの酒器があり、好きなもので酒を飲むことができる

は酒蔵見学を受け入れているほか（要予約）「酒泉館」という酒喫茶店をもち、手前にある福美人酒造も見学を受け入れています（要予約）。

西条の酒蔵周辺は蔵づくりの景観や石畳の歩道の整備が進められ、散策しやすくなりました。酒の仕込みに使う井戸水を開放して、誰でも自由に汲むことができるようにしている酒蔵もあり、近所の方がペットボトルを抱えて取水する光景ものどかです。

「酒のまち西条」というホームページに酒蔵めぐりの情報がコンパクトにまとまっているのもうれしいです。<http://saijosake.com/japanese/index.html>



■伏見（京都府京都市）

西条と並んでコンパクトに酒蔵がまとまっているのは京都市の南部に位置する伏見です。京都駅から電車で10分ほど乗った京阪電車中書島駅、近鉄桃山御陵駅から歩いて周れる地区に20を超える酒蔵が点在しています。

酒蔵巡りの中心となるのは月桂冠の古い酒蔵を生かした「大倉記念館」。伏見の酒づくりの歴史や清酒の製造工程がわかりやすく展示され、ミニプラント「月桂冠酒香房」では実際に酒をつくっているところを間近で見ることができます。試飲コーナーやショップが充実しており、ショップは見学しない人でも利用できます。

また大正時代に建てられた月桂冠の旧本社屋は、観光客向けの休憩所として今も利用されています。「伏見夢百衆」と名付けられ、100種類以上の伏見の酒のほか、伏見の特産品が販売されています。喫茶ルームでは仕込み水でたてたお茶を楽しんだり、きき酒したりすることもできます。

伏見の酒蔵を巡り歩いていると、秀吉がつくった運河（濠川）がくねくねと走



大倉記念館の前のおりを進むと、次々に酒蔵が現れてくる
京都市伏見区南浜町 247 番地 TEL075-623-2056



濠川（ほりかわ）は係留された十石船。時期によっては乗船して川からの景色が楽しめる



お休みどころ「伏見夢百衆」は月桂冠の旧本社屋

っていることに気づくでしょう。かつてこの地が京都と大阪を結ぶ水運の要衝だったことの証であるこの川は、ゆっくりとのどかに流れるところもあれば、穏やかな街の雰囲気からは思いがけないほど流れの激しいところもあって、表情が豊かです。また、名水百選に選ばれた泉を抱える御香宮神社や、坂本龍馬が定宿にした旅籠寺田屋など、歴史的観光スポットが豊富なことも伏見の酒蔵巡りならではの魅力です。(詳しくは伏見酒造組合ホームページを参照 <http://www.fushimi.or.jp/index.html>)

■酒造資料館なら「灘」(兵庫県西宮市・神戸市)

江戸後期に江戸市場を席卷した灘の酒。今も製造量トップの白鶴をはじめ大規模な酒蔵が集中しています。灘エリアは兵庫県の西宮市と神戸市東灘区の沿岸部に広がっています。もともと江戸向けの酒をつくる工業団地的な成立の仕方をしたこともあって、酒蔵の周囲に古くからの民家は少なく、また震災と阪神淡路大震災で古い酒蔵が焼失・倒壊してしまい、残念ながら土蔵の酒蔵が並ぶノスタルジックな景観を見ることはできません。

しかし、最先端の技術を得て発展した灘酒の歴史を伝える酒造資料館の充実ぶりは、他に類を見ません。白鹿記念酒造博物館、白鶴酒造資料館、菊正宗酒造記念館、神戸酒心館など複数の酒造資料館があり、清酒の酒造技術史をたどる歴史散歩なら灘の酒蔵巡りをおすすめします。

(詳しくは灘五郷酒造組合ホームページ参照 <http://www.nadagogo.ne.jp/>)

■諏訪の温泉&酒蔵(長野県諏訪市)

もうひとつご紹介したいのは長野県諏訪市です。JR 上諏訪駅から徒歩で10分、街道沿いに5つの酒蔵が並んでいます。春と秋には酒蔵を巡る「呑みあるき」が開催されてにぎわいます。上諏訪駅の上りホームにある無料の温泉(足湯)と合わせて楽しんでみてはいかがでしょうか。(呑みあるきホームページ <http://www.nomiaruki.com/>)



〔2〕日本のウイスキーづくりの原点 サントリー山崎蒸溜所

日本でウイスキーづくりが始まったのは 1923 年のこと。サントリーの創業者鳥井信治郎が京都郊外・山崎の地に蒸溜所を建設したのが始まりです。今年はそれから 90 年の節目の年にあたります。本場スコットランドに負けないウイスキーを目指してきた同社は、昨年、世界的な酒類コンペティション「ISC (インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ)」で、「ディスティラー・オブ・ザ・イヤー」を受賞、世界最高品質のウイスキーを生み出すメーカーであることを証明しました。

豊かな自然に抱かれた山崎蒸溜所は、千利休が愛した名水を生む地にあります。大阪と京都の境界にあつて交通至便なのですが、都会の喧騒とは無縁のゆっくりとした時が流れています。赤みがかった金色のポットスティル (蒸溜器) が 12 基も立ち並ぶ蒸溜棟や操業以来のウイスキー熟成樽が貯蔵されている貯蔵庫は圧巻、質でも量でも世界屈指です。

この蒸溜所は来場者の受け入れ態勢も群を抜いています。直に製造工程を見ることができるよう設計された見学コース、日本のウイスキーの足跡をコンパクトにまとめた展示、できたてのニューポット (蒸溜液) から希少なウイスキーまで試することができるテイastingカウンター、多彩なウイスキーセミナーは訪ねた人を飽きさせることがありません。

今年、この蒸溜所は 45 年ぶりの大型設備投資が行われるそう。世界的なウイスキー需要の高まりを見据えてのことです。日本のウイスキーの原点を、ぜひ訪ねてみてください。

(サントリー山崎蒸溜所 <http://suntory.jp/YAMAZAKI/>)

